

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス すまいる		公表日			2026 年 2 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	.	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・テラスを使用し、工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	1	・曜日によっては職員がもう一人いた方が良 いと感じることがある。 ・職員の配置を多くしている。	支援のレベルUPとケースカンファを定期的 に行う。 障がいの特徴での関わり方の研修を行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	・玄関と洗面所に段差があり、高さを合わせている。 ・壁の装飾少し派手に思う。 ・玄関・トイレ・洗面所の3ヶ所に段差があります。 ・手あらい場に行くとき、段差があるので改善できたらよいと思います。	1人の空間への工夫をしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2		定期的なメンテナンス（マット・食器・おも ちゃなど）を行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	・個別の部屋がない。そのようなスペースがあると良いと思う。	1人の空間への工夫をしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1		常勤・非常勤と共に情報と目標を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		保護者の意向はできる限り、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		全体MTGを年に数回、設け意見を把握する。 またその日の朝礼等を通し、職員の意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		こちらは、今のところ行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・法人内でもいろいろ工夫しているが、個人的にもう少し研修等を行う時間がほしい ・年に数回行っている	1人1人がスキルupの研修が受けられる様、研修のお知らせをしている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1		5領域にわたるプログラムを策定。 HPIに掲載中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1		個別ケースカンファを定期的 に実施予定。 個別支援計画の面談を行い計画にのせている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	・支援の話し合いはするが、回数が少ない。	個別支援計画がだれでもみれるようにする。 職員MTGを毎月全体MTG後またはその後近くで行うようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		保護者との面談にて必要な支援を確認後、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		良いなと思うプログラムは、随時グループLINEで共有し、実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・季節ごとのイベントを行っている	常勤MTGを月1行い、プログラムを考え固定化しないよう工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		毎朝、朝礼を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		毎日反省会を設け、記録を行っている。今日勤務していない職員へも共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		毎日反省会を設け、記録を行っている。それをもとに支援の検証・改善を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		6ヶ月ごとに定期的に見直しと随時必要に応じている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	1		毎日のプログラムに4つをいれながら行っているが、地域交流の機会に力をいれてる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・おやつは、自分で選択できるようになっている。	おやつやプログラム参加も利用児が選択している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	4		行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		学校や他放課後等デイ相談と支援と連携。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		トラブル発生時の連絡は非常勤スタッフと共有してないのでミーティングにて共有。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		情報提供。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		研修があれば、参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	・平日にできるようになるとなお良い。	平日は帰りが遅く、土曜日または長期休暇でやりたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		参加する機会があればしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		帰りの送迎時にその日の様子を共有している。
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		今後家族が参加できる研修をしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		変更になったものは随時説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		面談時や相談された時、行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1		

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・地震や災害時の避難訓練を一人ひとりに説明、指導を徹底して行っている。(団体行動)	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・地震や災害時の避難訓練を一人ひとりに説明、指導を徹底して行っている。(団体行動)	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・感染予防、インフルエンザ等、ワクチン接種の推進している。(従業員等)	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・月に一度の全体ミーティング研修実施。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・全体ミーティングにて周知	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		身体拘束に関する契約書は全利用者と締結しており、職員に対しては身体拘束の定義について周知・指導を行っている。